



株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

URL: http://www.nbr.co.jp/

「第82回 日本薬理学会年会」 ブースの出展と演題を発表致します。

第82回 日本薬理学会年会
2009年3月16日～18日 パシフィコ横浜

日 時：2008年3月16日(月)～18日(水)

場 所：パシフィコ横浜 会議センター

1. ブース展示

ブースでは、NBRの特徴(中枢、メタボリック、アレルギー、ミニブタなど)を中心に展示します。

2. 発表演題(一般演題;ポスター発表)

下記4演題につき、各試験担当者が発表します。

- 1) 杉浦 孝宏ら(演題番号:P1N-A7-6、セッション名:心・血管・腎臓O1、発表日時:3月16日(11:10～12:10)、N会場):
agmatine は虚血性腎症で観察されるアポトーシスを抑制し腎保護作用をもたらす
- 2) 松井 ゆかりら(演題番号:P1L-A15-6、セッション名:皮膚・脂肪組織、発表日時:3月16日(11:10～12:10)、L会場):
マウスの高脂肪含有飼料飼育による肥満と耐糖能異常における系統
- 3) 川崎 由紀子ら(演題番号:P1M-A11-6、セッション名:免疫・炎症・アレルギー1、発表日時:3月16日(11:10～12:10)、M会場):
NCマウスを用いたダニ抗原連続塗布によるアトピー性皮膚炎モデルの確立
- 4) 松田 智美ら(演題番号:P2L-A18-2、セッション名:疾患モデル2、発表日時:3月17日(11:10～12:10)、M会場):
嗅球摘出ラットのパニック様行動に対する薬物の効果

NBRで実施可能な試験のリーフレットなどご用意しております。

皆さまのご来訪をお待ち申し上げます。

第82回日本薬理学会年会

The 82nd Annual Meeting of The Japanese Pharmacological Society

パシフィコ横浜
2009年3月16日(月)～18日(水)

佐部利 典彦のアートギャラリー(17)

岐阜県出身(1969～)

作品解説

作品タイトル:「母子の像」
サイズ: SM
技法: 板に油彩、クレパス

私にも娘ができました。家族というものを実感しております。これから母子像などの家族をテーマにしたものを定期的に描いていこうかと考えております。



『心の絆 - その17 -』

昨年、サブプライム問題から一機に世界的金融危機と世界同時不況に陥り、企業倒産、赤字、減益、リストラといった見出しや会話が溢れています。昨年末には派遣社員を解雇された人が正月に住む家がない、食べ物がないと大きな社会問題になりました。こんなはずではなかった! こんなことが起るとは! 人生という先の読めない途上の一つです。厳しい結果ですがこれも現実です。そんな路頭にさ迷う子を思い、故郷の親は心を痛めています。一度故郷に帰るといいと思います。親は子供が幾つになっても子を想う気持ちに変わりはありません。親は我が子がどのような姿でも暖かく迎えます。それは子供の誕生以来、同じ歴史を辿った者同士に理解し合える情が育っているからです。親子の絆です。人は誰も人生に迷い苦しむ時があります。そんな時、親は人生の師匠になるでしょう。